

いきいき

平成23年6月15日

6月号 - 2 (NO.4)

文責 中村 敏智

フリー参観デー 雨の中 多数の参観ありがとうございました!

6月12日(日曜日)は、佐賀市小中学校及び附属小中学校が「こどもの教育を考える日」として一齐にフリー参観を行いました。当日は早朝からの雨にも関わらず、保護者の方が209名、校区内の方が26名、校区外の方が3名、合計238名の方々に本校児童の学習の様子や休み時間の過ごし方等参観していただくことができました。この日は「おにぎり弁当の日」でもあり、各教室で保護者の方も子どもたちと一緒におにぎりを食べている光景を見ることができました。

また、PTA 役員・父親委員の方々には、雨にも関わらず早朝から駐車場の案内、校内警備等を分担してもらいました。本当にありがとうございました。感謝の一言です。

なお、次回のフリー参観デーは11月13日(日曜日)に予定しております。



1年生での算数 TT 授業

稲の種まきをしました

先週6月10日(金曜日)に1年生・5年生が稲の種まきをしました。これは、稲作体験事業の一つで行っています。当日は10名の JA 青年部の皆様のご協力を得てスムーズに種まきが出来ました。JA の皆さん、本当にありがとうございました。

この稲作体験活動は、「種まき」から始まり、田んぼでの「泥んこ遊び」、「田植え」、「稲刈り」、「天日干し」、「脱穀」、「餅つき」と続いていきます。次回の泥んこ遊びからは、幼稚園と小学校の連携教育の一環で、錦華幼稚園・巨勢保育園の園児たちも一緒に活動します。



1年生



5年生



JA の青年部の方々

名前札について

6月8日(水曜日)の全校の集いで名前札について以下のような内容で子どもたちに話しました。

巨勢小学校では、名前札は全員がつけることになっています。でも、時々名前札がついていない人がいるので、とても残念に思います。そういう人は、名前札はどうしてつけているのかわかっていないのではないかと思います。名前札はなぜつけるのでしょうか。?

3つの意味があります。

1. 「私は です。どうぞよろしく」という役目をするのです。
2. 「私は責任を持って行動します。」という意味です。

良いことでも悪いことでも、名前札をつけていると、良いことしたのは誰か、悪いことしたのは誰かがわかる訳です。名前札をつけることで、自分の行動に責任を持つということです。

3. 「もし、交通事故に遭った時、名前札が命を救います。」

名前札の裏には、血液型と住所を書くようになっています。もしもの場合、君たちの命を救うかもしれません。

ぜひ! 子どもの登校前に「名前札つけた!?」と、一言声かけをお願いします。

